

2020年度 日本発育発達学会総会 資料

2021年3月12日に行われた理事会にて、本年度の総会は書面により開催することが決定されました。

- 3月17日 学会ホームページに総会資料の掲載
- 3月17日～3月28日 総会に参加しない正会員の委任状の受付
→学会事務局あて（総会用返信先 membership@hatsuhatsu.com）
- 3月17日～3月21日 学会事務局あて（総会用返信先 membership@hatsuhatsu.com）にて
意見受付
- 3月22日～3月28日 学会事務局あて（総会用返信先 membership@hatsuhatsu.com）に
議題1から5の投票

注意： 学会事務局宛には、必ず学会に登録したメールアドレスから発信してください。
それ以外のアドレスは無効です。

議題

- 1. 2020年度事業報告 資料1
- 2. 2020年度会計報告 資料2
- 3. 2021年度事業案 資料3
- 4. 2021年度予算案 資料4
- 5. 会則の改正 資料5

報告事項

- 1. 発育発達研究の投稿・編集の状況 資料6
- 2. J-Stageの登録、アクセス状況 資料7
- 3. 子どもと発育発達の編集状況 資料8
- 4. 第7期役員選挙について

理事選挙は2月1日～2月15日を投票期間として行われた。現在、理事長選挙が行われている。
選挙終了後、選挙結果は学会ホームページ上で公開予定である。

- 5. 第20回大会について
第20回大会は2022年3月19日（土）から21日（月・祝）の間の2日間、女子栄養大学にて大会
長を田中茂穂氏として開催されることとなった。
- 6. 研究倫理、共著者などに関する、論文投稿者へのお願い 資料9

2020年度事業報告

- 3月 子どもと発育発達 第17巻第4号発行
『特集：測定の科学～教育・発達研究における測定方法を中心として～』
子どもと発育発達 第17巻増刊号発行 発育発達研究86号
- 4月 4月9日 子どもと発育発達拡大編集委員会
- 5月 日本発育発達学会第18回大会のWeb開催（5/25（月）～6/7（日））
5月23日 発育発達研究86号 J-STAGE 掲載
- 6月 子どもと発育発達 第18巻第1号発行『特集：子どもの“元気”を育む身体活動の可能性』
発育発達研究87号発行
6月1-30日 日本体育学会代議員選挙
6月25日 発育発達研究87号 J-STAGE 掲載
6月27日 日本体育学会定時総会（野井理事）
- 7月 7月15日 日本スポーツ体育健康科学学術連合2019年度総会（書面会議）（野井理事）
2021-2023年度役員選挙代表候補者および副代表候補者の推薦
代表候補者：大澤清二，副代表候補者：國土将平
最優秀研究賞，優秀賞，推薦論文の対象者の決定
最優秀研究賞：加藤謙一先生「幼児の投運動の特徴に関するキネマティクス研究—1980年代の幼児との比較—」
優秀研究賞：上田恵子先生「幼児における動作因果関係を考慮した走動作の観察的評価尺度の開発」
- 9月 子どもと発育発達 第18巻第2号発行『特集：保育における評価スケール～実際と展開～』
発育発達研究88号発行
9月8日～22日 横浜スポーツ学術会議 オンライン開催
General Symposia
Current status and promotion of physical activity and physical fitness for Asian children
9月16日 第1回理事会
9月19日 第1回緊急理事会
日本体育学会 専門領域代議員候補者
春日晃章，國土将平，吉田伊津美
日本体育学会 応用（領域横断）研究部会 委員の推薦
学校保健体育研究部会 末永祐介（東京女子体育大学）
競技スポーツ研究部会 広瀬統一（早稲田大学）
生涯スポーツ研究部会 香村恵介（名城大学）
健康福祉研究部会 城所哲宏（明治安田厚生事業団 体力医学研究所）

- 10月 10月12日—16日 e理事会
 10月14日 第2回緊急理事会
 10月30日 発育発達研究 No.88 J-STAGE 登録
- 11月 11月1日 第3回緊急理事会
 11月2-3日 第4回緊急理事会 (e-理事会)
 11月18-24日 第5回緊急理事会 (e-理事会)
- 12月 子どもと発育発達 第18巻第3号発行『特集：発育発達研究における統計手法』
 発育発達研究 89号発行
 12月25日 発育発達研究 No.89 J-STAGE 登録
 12月29日 第6回緊急理事会
- 1月 1月12-16日 第7回緊急理事会 (e-理事会)
 1月19-28日 役員被選挙人名簿公表
 日本体育学会編集委員推薦
 体育学研究 加藤謙一, 鈴木宏哉, 広瀬統一
 JSHS 田中茂穂, 中野貴博, 藤原素子
- 2月 2月15日 役員選挙
 2月16-19日 第8回緊急理事会 (e-理事会)
 2月19-25日 理事会 (e-理事会)
- 3月 3月5日 体育学会第71回大会のオンライン開催について (アンケート)
 発育発達専門領域の発表：ポスター発表, キーノート開催
 3月12日 第2回理事会開催
 3月12日 「子どもと発育発達」編集委員会開催
 日本発育発達学会第19回大会 3月13-14日, 中京大学 (オンライン)

日本発育発達学会 会員の動向 (2021年2月26日時点)

○日本発育発達学会会員 (直接会員)

会員数	451	人
(寄贈2件、賛助会員1件、名誉会員6名、正会員401名、準会員38名)		
2020年度入会	29	人
2020年度退会	13	人
2020年度未退会予定者	7	人

○日本発育発達学会会員 (日本体育学会経由)

会員数	442	人
2020年度入会	14	人
2020年度退会	14	人

○発育発達学会員数 計 893 人

2020年度 日本発育発達学会 会計報告

(2020年2月1日～2021年1月31日)

【収入】	(円)	予算額(A)	決算(B)	差額(B-A)	備考
①前期繰越金		6,679,872	6,679,872	0	
②会員会費		6,300,000	6,576,000	276,000	@20,000×1, @8,000×803, @4000×33
③支援企業協賛費		0	0	0	
④体育学会分科会補助金		119,000	120,144	1,144	
⑤利息		20	13	-7	
⑥論文掲載料		350,000	466,560	116,560	@12,960円×36頁
⑦「子どもと発育発達」売掛金		1,300,000	1,132,020	-167,980	
⑧雑収入		0	7,361	7,361	複製使用料金(jcopy), 大会抄録集BN販売代金
合計		14,748,892	14,981,970	233,078	

【支出】	(円)	予算額(A)	決算(B)	差額(B-A)	備考
①「子どもと発育発達」「発育発達研究」刊行費		7,000,000	7,023,678	23,678	17巻4号・増刊号・18巻1号・2号・3号(執筆謝礼、査読謝礼含む)
②年次学会補助金		2,000,000	1,288,776	-711,224	2020年度第19回大会 2019年度第18回大会の残額(¥711,224円)
③学会運営費		1,140,000	1,018,600	-121,400	大会時の学会事務局アルバイト費を含む
④会議費		550,000	61,776	-488,224	理事会、監査、編集委員会、交通費を含む
⑤通信費		100,000	94,633	-5,367	
⑥印刷製本費		50,000	0	-50,000	
⑦消耗品費		50,000	0	-50,000	
⑧HP関連費		520,000	204,600	-315,400	セキュリティ強化のためのシステム、サーバ借用費、メールシステム(2019.04～2020.03)
⑨月例会交通費		50,000	0	-50,000	
⑩表彰費		30,000	21,890	-8,110	
⑪広報活動費		300,000	169,600	-130,400	J-STAGE掲載関連経費・日本スポーツ科学 学術連合会費
⑫横浜スポーツ学術会議運営費		100,000	0	-100,000	例年は体育学会大会運営費
⑬タスクフォース委員会費		100,000	0	-100,000	
⑭予備費		2,758,892	121,000	-2,637,892	雑費(供花・相談料)
⑮次期繰越金		0	4,977,417	4,977,417	
合計		14,748,892	14,981,970	233,078	

上記の収支決算書に相違ないことを確認しました。

2021年3月4日 監事

有川秀之 (印)

2021年3月4日 監事

鈴木宏哉 (印)

2021年度事業(案)

1. 学術誌「発育発達研究」第91号～94号の編集, 発刊, J-STAGE への登録
2. 「子どもと発育発達」第19巻1-4号, 増刊号編集, 発刊
3. 日本発育発達学会第20回大会 2022年3月: 女子栄養大学 (大会長: 田中茂穂)
4. 日本発育発達学会第19回大会 研究論文集の作成
5. 日本発育発達学会第19回大会優秀賞の選考
6. 日本体育学会第71回大会 2021年9月7-9日 於: オンライン開催 (主催: 筑波大学)
7. 理事会の開催 (3回, 2021年4月, 11月, 2022年3月の予定)
8. 学会改革の推進 (会則等の整備, 広報の拡充等)

理事会にて予備費が減少しており、来年度途中で支出の抑制を含めた予算の更正をすることとなった

2021年度 日本発育発達学会 予算(案)

【収入】 (円)	2021年予算 (A)	備考	2020年予算(B)	差額(A-B)
①前期繰越金	4,977,417		6,679,872	-1,702,455
②会員会費	6,300,000	@ (850×8000円+50* 4000) ×0.9 (予算額)	6,300,000	0
③支援企業協賛費	0		0	0
④体育学会分科会補助金	119,000		119,000	0
⑤利息	20		20	0
⑥論文掲載料	350,000		350,000	0
⑦「子どもと発育発達」売掛 金	1,300,000		1,300,000	0
⑧複製資料用金	7,000		0	7,000
合計	13,053,437		14,748,892	-1,695,455

【支出】 (円)	2021年予算 (A)	備考	2020年予算(B)	差額(A-B)
①「子どもと発育発達」 「発育発達研究」刊行費	7,000,000	18巻4号・増刊号・19巻1 号・2号・3号(執筆謝礼、 査読謝礼含む)	7,000,000	0
②年次学会補助金	2,000,000	2021年度第20回大会	2,000,000	0
③学会運営費	1,140,000	通勤費と合算、大会時の学会事 務局アルバイト費を含む	1,140,000	0
④会議費	300,000	理事会、監査、編集委員会、 交通費を含む	550,000	-250,000
⑥通信費	100,000		100,000	0
⑦印刷製本費	50,000		50,000	0
⑧消耗品費	50,000	主に封筒代	50,000	0
⑧HP関連費	520,000	システム、サーバ借用費、 メールシステム	520,000	0
⑨月例会交通費	50,000		50,000	0
⑩表彰費	30,000		30,000	0
⑪広報活動費	300,000	J-STAGE 搭載関連経費・日本ス ポーツ科学学術連合会費	300,000	0
⑫体育学会大会運営費運営費	100,000		100,000	0
⑬タスクフォース委員会費	100,000		100,000	0
⑭予備費	1,313,437		2,758,892	-1,445,455
合計	13,053,437		14,748,892	-1,695,455

(2020年9月16日の理事会において承認済み)

会則の改正について

第9章, 第18条から20条を追加する。

第9章 会員資格

第18条 会員は、理事会において退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

第19条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を懲戒処分等することができる。

- (1) この会則その他の規則に違反したとき
- (2) 日本発育発達学会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき
- (3) その他懲戒処分すべき正当な事由があるとき

第20条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 学会費の支払義務を2年以上履行しなかったとき
- (2) 総会が同意したとき
- (3) 当該会員が死亡したとき
- (4) 後見開始又は保佐開始の審判を受けたとき

「発育発達研究」査読状況

集計期間:2020年4月1日～2021年2月28日(受付日)

◎投稿論文数.....28編

◎掲載論文数.....19編(原著:10編, 資料:7編, フィールド・レポート:2編)

第87号.....3編(原著:3編)

第88号.....3編(原著:1編, 資料:2編)

第89号.....3編(原著:2編, 資料:1編)

第90号.....8編(原著:4編, 資料:3編, フィールド・レポート:1編)

第91号.....2編(資料:1編, フィールド・レポート:1編)

※第91号は2021年5月発行

◎査読者一覧

阿江 通良	佐川 哲也	中野 貴博
青柳 直子	佐々木玲子	長野 康平
有川 秀之	佐竹 隆	西嶋 尚彦
稲垣 敦	下田 敦子	野中 壽子
上田 恵子	鈴木 和弘	藤井 勝紀
大澤 清二	鈴木 宏哉	松村 秋芳
春日 晃章	高木 誠一	宮口 和義
加藤 謙一	高倉 実	若吉 浩二
菊田 文夫	田中 茂穂	渡邊 将司
北川 薫	寺井あすか	
小磯 透	中川 正宣	
国土 将平	中西 純	

「子どもと発育発達」編集状況

- 18 卷 1 号「子どもの“元気”を育む身体活動の可能性」担当：野井真吾
[連載]「統計学解説シリーズ」「発育発達学の統計的基礎、正規分布について」大澤清二
- 18 卷 2 号「保育における評価スケール～実際と展開～」担当：埋橋玲子（同志社女子大学）
[連載]「統計学解説シリーズ」「相関・回帰論と発育学」大澤清二
- 18 卷 3 号「発育発達研究における統計手法」担当：國土将平
- 18 卷 4 号「体力テストでは測れない子どもの動き～走・投動作を考える～」担当：加藤謙一
第 18 回大会のシンポジウム特集
[連載]「遊びの世界」大澤清二
(2021 年 4 月中旬発行予定)
- 19 卷 1 号「社会変動下における子どもの発育発達の保障をめざして
—長期にわたる学校休校措置などが子どもに与える影響を事例として—」担当：鈴木和弘
[連載]「遊びの世界」大澤清二

既に学会でのホームページにも掲載されていますが、編集委員会から研究倫理などについてお願いがあります。

研究倫理、共著者などに関する、論文投稿者へのお願い

2020年8月2日

発育発達学研究 編集委員会・委員長 大澤清二
同 副委員長 北川薫

1. 共著者については特にご注意ください。ゴーストオーサー、ギフトオーサーは禁止です。共著者は研究に直接的に関与し、掲載された内容に対して十分に共同責任を負える方だけに限り、補助的な貢献をした場合には共著者としてではなく、謝辞においてそのことを明記するにとどめてください。
不適切な場合には、書き替えをお願いする場合があります。
2. 原著論文、短報などはオリジナルであることを前提としております。形式的に整備されていても、本学会の趣旨（発育発達学に貢献すること）から逸れる論文は他の雑誌に投稿していただくようお願いすることがあります。
3. 収集したデータの客観性が保証できない論文は科学論文としての条件を満たしませんので、掲載をお断りすることがあります。例として、研究者がデータ収集、整理、加工、の各段階で客観性を証明できないデータを使用している場合はこれに当たります。
既に日本学術振興会ではこうしたガイドラインを研究者の義務として公表しており、実験ノートや記録紙、データセットなどは客観性を証明するものとして、必ず保管することを求めています。これは科学としての必須条件である追試や反証の可能性を保証するために不可欠の資料となります。また、アンケート調査の場合にもこの点をご配慮ください。
4. 研究データの改ざん、盗用、捏造はこれを疑われる時は掲載を見合わせる場合があります。

以上、本学会としては優れた科学論文を産み出し、社会的な責任を果たすために科学者として会員諸氏がこれらの研究倫理を順守していただくことを期待いたします。